



学校での取組を紹介します！ 日高川町立美山小学校

令和6年4月、日高川町立旧寒川第一小学校・旧笠松小学校・旧川原河小学校の統合により、日高川町立美山小学校が開校しました。校舎は清流日高川のほとりに位置し、豊かな自然に囲まれています。本校では、「**地域とともに歩む学校**」を目指し、地域の自然や人材、史跡、行事などを生かした探究的な学びを進めています。

その中心となるのが、生活科や総合的な学習の時間に実施している地域学習「**みやまっ子タイム**」です。こどもたちは「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」のサイクルを繰り返しながら、主体的に学びを深めています。1・2年生は「美山たんけん隊」、3・4年生は「美山調べ隊」、5・6年生は「美山盛り上げ隊」として、それぞれの発達段階に応じた探究活動に取り組んでいます。

代表的な活動が、「**まごころ野菜～美山小ファーム～**」です。旧笠松小学校から受け継いだ取組で、こどもたちが種まきから収穫、袋詰め、販売までを主体的に行っています。校区内



の店舗や産品所で販売することで、生産から流通までを実体験として学び、食育や地域とのつながりを深めています。また、「**もっと地域を元気にしたい**」という思いから、地域サポーターと協力した商品企画や販売活動にも取り組んでいます。日高川フォレスト祭では、自分たちで考えた商品を販売し、地域の方々との交流を通して郷土愛を育んでいます。

さらに、**こどもが主体となって制作したマスコットキャラクター「みやぼん」**も、美山小学校の魅力の一つです。地域の自然や学校での活動をもとにこどもたちが考案し、イラストレーターの中川貴雄さんの協力を得て誕生しました。現在では、学校だよりや掲示物など、学校生活のさまざまな場面で活用され、親しまれています。

これらの活動を通して、こどもたちは**地域の魅力を再発見し、自ら考え行動する力**を身に付けています。美山小学校は、地域と学校、そしてこどもたちがつながり合いながら、未来へ向かって学び続ける学校づくりを進めています。



みやぼん



輝く！ 紀の国の先生

すさみ町立周参見小学校 田中 沙季先生

今回の「輝く！紀の国の先生」は、すさみ町立周参見小学校の田中沙季先生をご紹介します。大学での授業や教育実習の経験を契機に教員を志した田中先生。教員2年目を迎えた現在、日々感じていることやこどもたちとの関わり方について、インタビューを通してお伝えします。



Q 教員になってみて、どう思いましたか？

実際に教員として勤務してみると、教育実習に行かせて頂いた時には気が付かなかった業務もあり、教師として働くことの難しさを感じました。しかし、**こどもたちがとにかく可愛く、すぐそばで成長を実感できることに喜びを感じており、楽しいという気持ちの方が強い**です。

Q 今年度、小学校1年生の担任をする上で大切にしていることはありますか？

とにかく褒めることです。こどもたちに「いいところがたくさんあるよ」と伝えたいです。**自己肯定感を自分の成長につなげてほしい**と考えています。

Q 小学校1年生の間に身に付けてほしいことはありますか？

人との適切なコミュニケーションの取り方を身に付けてほしいと考えています。自分の思いや考えを言葉で相手に伝える力を育むとともに、**他の人に対して優しさや思いやりをもって接**することができるように成長してほしいと願っています。

Q ワーク・ライフ・バランスのために工夫していることはありますか？

優先順位をつけて効率的に取り組むことで、働く時間が長くならないように工夫しています。また、趣味の時間を確保することで**心身のリフレッシュ**を図っています。

Q 今後取り組んでいきたいことや目標はありますか？

地域の方との交流や町探検などの行事を通して、**地域とのつながりを一層大切にしていきたい**と考えています。また、こどもたちと毎日一緒に過ごす中で、一人一人の思いや悩みを丁寧に聞き、学び続けることで**こどもと同じ目線に立って考えられる教師になりたい**です。



きのくに 教育めぐり

古座川町教育委員会

古座川町教育委員会 教育長 大畑 眞

古座川町は和歌山県の南東部に位置し、町面積の約96%が森林で、町の中央を大塔山を源流とする清流古座川が流れています。少子高齢化が進む町の児童生徒数は令和8年5月1日現在、小学校3校58名、中学校2校80名となっています。学校教育においては、一人一台端末をさらに活用しながら、児童生徒が主語となる学習が展開されるよう進めます。社会教育では、全ての町民が生き生きと生活できるように様々な公民館活動やその環境整備を推進しています。また、町の貴重な財産でもある祭りや獅子舞、伝統的な食文化等の無形民俗文化財の映像化保存事業（令和6年度から）も継続して取り組んでいます。



ふるさと教育



満開のタイプ木の下で高池小学校6年生によるクマノザクラガイド

「町全体が教室、町民全てが先生」をスローガンに掲げ、古座川町教育委員会では、豊かな自然と温かい地域の人々、協働的な学校運営協議会、そして極小規模校の機動性を生かし、各校それぞれが特色ある取組を進めています。町内全ての小学校で米作り体験があり、収穫した米で餅つきまでおこなっています。高池小学校では、国内で100年ぶりの新種として発見されたクマノザクラの標本を採取したタイプ木が校区にあることをきっかけに、平成30年から保護と周知を両輪としたクマノザクラ学習に取り組んでいます。

子ども教育15年プラン

0歳から15歳まで一人一人のこどもの育ちを大切にし、保小中の一貫した教育を進めていくために、『古座川町子ども教育15年プラン』を平成27年度に策定し、現在2期目です。『心豊かにたくましく羽ばたく古座川っ子の育成』を目標に、ふるさと教育・英語教育（保育所から）・読書教育を3本柱にして取り組んでいます。今後は、KAP（古座川アドベンチャープログラム）の取組にも力を入れて行きたいと考えています。



明神小学校での稚鮎の放流体験



三尾川小学校の米作り体験

ふれあい交流事業

平成16年から毎年夏休みに川崎市生涯学習財団（神奈川県）の『ふれあいサマーキャンプ』で川崎市の小中学生が来町し、古座川町の5・6年生と、うなぎ石漁・川水泳・カヌー体験・カレー作り・ジオ学習など様々な体験活動と一緒にしています。

また、平成22年から8月下旬に、古座川町の6年生希望者が川崎市の小学校を訪問し、6年生と交流したり、古座川町を7月に訪れたこども達と、川崎市青少年の家で再会し、交流を深めたりしています。この川崎市との交流は15年以上も続く、古座川町教育委員会の社会教育分野での大切な交流事業となっています。



石を積んですみかを作って捕るうなぎ石漁体験



清流古座川を2人乗りカヌーで2時間かけて川下り

飛びこんだり、流れたり、魚をとったり、川水泳を満喫